

○トラック1　　↓教会で出会ったある美女との会話↓

●背景…教会（日中）

主人公、教会にやって来る

おねシヨタなので基本、マイクは主人公は見上げている

◇SE…重たいドアを開く音

少しの間

◇SE…響く足音

主人公、祭壇にお祈りをする

横の部屋からベラ（ヒロイン）が顔を覗かせる

◆左遠い

参拝の方ですか？

ベラ、小走りで近づいてくる

◇SE…小走りの足音

主人公、ベラの方を見る

◆正面

■演技…主人公の顔を見て驚く

えっ………ふ

少しの間

あっ………。

ふふふ。

ごめんなさい。

ちよっと知り合いの子に似てたから。

◇SE…足音数歩

◆正面近い

随分お若い方ですね。
キミ、おいくつ？

……まあ。

そんなお年で冒険者に？
ご両親は？

主人公、両親はいないと語る

あらあ……。

こんな世界ですもの、ご両親がいない子も多いですからね。
でも、キミはこうして生きてます。

きつと、神の加護がキミの将来を守ってくれるハズですよ。

これからどちらに？

冒険？

……へえ、まだ幼いのにモンスターの討伐……。

少しの間

知り合いの子はモンスターにやられてしまつて……。
なので、同じ年頃のキミがモンスター討伐していると聞いて、
胸がざわついてます……。

どうかキミは、無事に帰ってこられますように。
私からも精一杯お祈りさせていただきますね。

少しの間

はい。私から加護を受けました。

冒険者様の旅路を邪魔してはいけませんね。

道中お氣をつけて。

それから……。

私になにかできることがありましたら……、
遠慮なくご相談に来てくださいね。

では、私はこれで。

私はシスターのベラ。

キミの人生に、神のご加護があらんことを祈っていますね。

◇SE…足音

足音のフェードアウト

○トラック2…シスター・ベラの聖なる性まじない／手淫でオトナの快感を／

●背景…町（夜）

主人公、フィールドから帰ってきて主人公は歩いている

◇SE…足音

◇SE…携えている剣が揺れる音

少しの間

遠くの民家からベラが出てくる

◆正面遠い

あら？ こないだの……。

◇SE…小走りの足音

◇SE…携えている剣が揺れる音

主人公がベラのもとに駆け寄る

◆正面

どうしたんですか？

私は町の方々のお悩みを聞いていたところでして。

主人公、事情を説明

サキュバス？

ああ……はい。そうですね。

森の向こうの洞窟にはサキュバスの巣があると聞いたことがありますね。

まさか……そんな危険な場所に向かったんですか？

ダメじゃないです……！

サキュバスは男性が討伐してはいけない決まりになっています。

男性は……彼女らの鼻を刺激してしまうのですから……。

主人公、サキュバスを倒したいと語る

た、倒したいって……。

いくらキミが若くても、サキュバスに見境なんてありません。

その——せ、性器があれば……。

彼女たち……誰でもいただいてしまいますし……。

現にこないだ被害に遭われたのはご老人で……。

主人公、サキュバス討伐の策を求める

た、倒す術ですか？

ないことはない……ですが……。

……私は行かせたくありません。

キミみたいな若い子が命を落とす世の中なんて間違っています。

神のご加護のもと……本当なら、健康的な暮らしをしてほしいのですが……。

少しの間

……そうですね。

お金のため……キミは、一人で生きてきたんですね。

……私にはなにも言う権限はありません。

■演技…少し必死に

……せめて！

せめて、私に協力させてくれませんか・

そ、その……っ、シスターの力があれば……、

それと、女性の香りを漂わせれば……彼女達はそれを嫌うはずなので……。

主人公、具体的に尋ねる

内容はあ……。

■演技…咳払い
ん。

ここでは誰かに聞かれたら困るので……。
教会の客室にいきましようか？

◇SE…足音（ベラ）

遅れて主人公が歩き出す

◇SE…足音

◇SE…携えている剣が揺れる音

足音フェードアウト

場面移動

●背景…教会・屋根裏部屋（夜）

主人公、屋根裏部屋に入る

◇SE…ドアを開ける音

◇SE…足音数歩

◆後方

教会の屋根裏部屋です。

ベラ、遅れて部屋に入る

◇SE…ドアを閉める音

◇SE…足音数歩

◆左

普段は遠方から修行中のシスターの宿泊用に使っているのですが、
いまは空いてまして。

ここなら、キミが泊まっても問題ないですよね。

主人公、サキュバスの対策について聞く

◆正面

ふふ。そう急かさないでください。

私だってあのような町中では言えませんよ。

なぜなら……シスターの加護を睾丸に蓄えて、

男性ホルモンが外に出るのを防ぐのが狙いなんです。

主人公、静止する。

……も、もちろんおかしいこと言ってると思いますよ？

私も知識がなかったらそう聞こえています。

でも、睾丸に溜まっている精子の匂いにサキュバスは反応するんです。

その精子を一旦放出して、ホルモンが外に出るのを防ぎます。

そうすれば匂いで気づかれることはありませんし……、

性行為の耐性もついて一石二鳥です。

主人公「せ、性行為？」

はい……性行為です。

あの……私も恥ずかしいですし……純潔を守るシスターとしてダメなことと承知の上です。

悲しんでくれる人は誰もいないなんて思わないでください。

私は悲しいんです……。

いい、ですよね……？

では……ズボンを脱いで、

ベッドに座ってくださいね。

主人公、躊躇う

脱げません、か……？

私も恥ずかしいので、そこまでの補助は、ちょっと……。

主人公、脱ぐ決心をする

ありがとうございます……。

◇SE…脱ぐ音

……。

■演技…生唾をのむ
んう……………。

主人公、パンツ姿に

下着も、です。

◇SE…パンツを脱ぐ音

……………。

ペニスが飛び出す

わっ…………。

すごい…………。

キミのおちんちん…………元氣におつきくなってますね…………。

ベラ、ペニスに見惚れる

■演技…我に返る

…………あ、ごめんなさいボーッとしてて。

ベッド、どうぞ。

◇SE…足音数歩

◇SE…ベッドに座る

主人公、ベッドに座る

◇SE…足音数歩

ベッドに座る主人公に顔を近づける

◆正面近い

ごめんなさい。

キス開始

◆正面極近

ちゅ、ちゅんん、ちゅ……ちゅぷううう、ちゅ。

はあ……はあ……んんん、ぶちゅ、ちゅく、ちゅうううツ、ちゅ。

おちんちん、握りますね。

ペニスに触れる

はあ……。

弟と同じくらいなのに……おちんちんは、こんなに男性的に……。

んむ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ……。

正直、こういう経験はありません。

ですが、神の名のもとに……キミに、加護を授けます。
どうか……射精、お願いしますね。

◇SE…手コキ・低速

ちゅうう、んん、ちゅく、ちゅうう、ちゅ。

んん、ちゅ……ちゅうう、ちゅ……。

はあ……はあ……んぷんん、ちゅく、ちゅツ。

んぷん、ちゅつ、ちちゅう、うぷうう、んん、チュツ。

キミも……こういうのは初めて？

んぷ、ちゅ、ちゅくう、ちゅ……んん、ちゅつ。

んんむう、ん、ちゅ……。

◆正面極近 ↓ 左極近

それと……、

◆左極近

こういうのも、刺激になるんでしょうか……？

耳舐め開始

れろれろ……れろっ。

んぶ、ちゅ……ちゅ……ちゅぶ、ちゅ。

お耳を舐めるの……いえ、舐めること自体は、したことないのですが……、
ちゅ、ちゅう、
こう――、

■演技…息を吹く

ふうー……。。

よく、知り合いの子をからかってました……。

ふふふ♥

んんん、ちゅう、ちゅ、神に仕える私がお耳を舐めるのは
罪悪感がありますが……ちゅうう、ちゅ、これも、キミの命を守るため。

ちゅうう、ちゅ……んぶ……ちゅ、ちゅくう、ちゅ……。

んんん、ぶちゅ、ちゅ……んんん、ちゅ。

ちゅ……ちゅう、気持ちいいですか……？

んんん、ちゅちゅうう……ですが、このままだと……ちゅうう、ちゅ、
いつまでも……射精、できなさそうな予感がします……。

ちゅうう……ちゅ、ちゅッ、ねえ、キミは射精したことありますか？
んん、ちゅ……あ、そ、そういう辱めを与えたい質問ではなくて……、
単純に、お聞きしようと思っただけで……。

主人公、自慰をする返答

まあ……。

するのですね……？

ちゅぶ、ちゅう……んん、ちゅッ。

ちゅむう、ちゅ、その時の早さって……どう……ですか……？

ちゅ……んん、ちゅ、ちゅううう、ちゅ、ッ。

わかりました……。

◇SE…手コキ・中速

こ、これくらいでどう、でしょう……？

平気ですか？

◆左極近 ↓ 右極近

でしたら……。

◆右極近

ペースをあげて……気持ちよくしてみます。

ちゅむう、ちゅ、んん、ちゅ……ちゅ、ちゅう。

シスターだって……女性なんです。

ちゅるる、ちゅ、一生の中のほんのひとときだけでも……、
女性としての技術、見せつけます。

ちゅむ、ちゅううう……んん、ちゅく、ちゅ、ちゅ。
れろつれろれろ。

んんん、ちゅちゅ……んん、ちゅ……。
ちゅく、ちゅ………んん、ちゅッ、ちゅっ。
はあっ、はあ……んん、ちゅ。

気持ちいいですか？

ちゅっ、ちゅう……ふふ、なにやら透明なおつゆが出ていますが……、
きつと、気持ちいいのは本心なのですね。

ちゅう、ちゅ……んん、ちゅく、ちゅうう。

はあ……はあ……んんむう、ちゅ、ちゅうう……ちゅる、ちゅッ。

その本心を……ちゅむう、ちゅ、もつと、吐き出してください。
精子を出せば出すほど……ちゅう、ちゅ、加護を与えやすくなります。

んぶん、ちゅ、ちゅうッ、ちゅ……はあ……んん、ちゅ。

はあ……はあ……れろれろ、んん、ちゅ、ちゅく……。

ちゅくう……ちゅうう、ちゅむ、ちゅうう。んん、ちゅ。ちゅ。

射精させて、いいですか……？

私のお手々の中で……どうか幸福を……！

◇SE…手コキ・高速

ちゅむ、ちゅううっ、ちゅッ、んん、ちゅく、ちゅ、ちゅううっ。

はあ……はあ……。

んん、ん、ちゅ、ちゅう。

どうぞ、射精ください……。

睾丸に溜めた想いを……全部、吐き出してくださいっ。

んん、ちゅ、ちゅくうッ、ちゅう。

はあ……はあ……。

んぶう、ちゅ、ちゅくちゅう。

ちゅうう、ちゅんん、ちゅッ。

れろれろれろれろ……っ。

どうか……精液を……ッ。

◇SE…射精

ひゃッ！

手コキ停止

■演技…ペニスを見る

あっ、ああ……。

すごいですね……。

精液とは……こんなにも、大量に溢れ出るものだとは……。

はあ………はあ……。

匂いも……こんなに濃いんですね……。

主人公、彼氏の有無を尋ねる

彼氏？ いえ、そのような方はいませんよ。

シスターは純潔……処女を守るのと同時に、

こうした行為すら、ほんとうはNGですから。

………それで、どうでしょう。

全部、出し尽くしましたか？

……ふふ、ありがとうございます。

これで睾丸に加護は宿り……男性ホルモンを抑制できました。

うかつに近づかなければ遠く離れていてもサキユバスに気づかれませんし……、

おちんちん……気持ちよかったですよね？

……はい。

その快感に慣れておけば、万が一サキユバスに襲われても快楽に屈するリスクは多少減ったはずで。

◆正面極近

これにて、おしまいです。
夜遅いですし、よかったらここに泊まってください。

では、おやすみなさい。

ちゅッ。

ふふふ、今日のことは……
神様にもナイシヨですよ？

○トラック3…性欲暴走！サキュバスエキス発散の口腔治療

●背景…教会（夜）

主人公、再び教会を訪ねる

◇SE…重たいドアを開く音

◇SE…足音数歩

◇SE…重たいドアを閉じる音

主人公、教会の奥へ向かう

◇SE…響く足音

少しの間

キョロキョロとベラを探す

ベラ、小部屋から出てくる

◇SE…ドアを開く音

◆正面遠い

あら？　こんな夜にどうしたんですか？

◇SE…小走り

◆正面

サキュバスの件はどうしました？
ん？

ベラ、下半身の勃起に気づく

■演技…下半身を見る

ま、まあ………！

その下半身の膨らみはどうされましたか………
…ふ

主人公、サキュバスにキスをされたと語る

さ、サキュバスのキス………！
それって呪いじゃないですか………！

いけない………！

よくみたら頬の上がりも………。

あの、すぐに上の屋根裏部屋へ向かっててください！
私も準備しますので、すぐに！

ベラ、主人公の手を握って励ます

絶対、助けますからね………！

とにかく、息苦しいでしょうから、
全部脱いで待っていてくださいね。

主人公、屋根裏部屋へ向かう

◇SE…足音

足音のフェードアウト

●背景…屋根裏部屋（夜）

主人公、全裸でベッドに座っている

◇SE…ドアのノック音

ベラ、ドアの向こうでしゃべる

◆正面遠い

入りますね？

◇SE…ドアを開く音

◆正面遠い

■演技…緊張気味

失礼します……。

◇SE…ドアを閉める音

◆正面遠い ↓ 正面

この格好、いかがですか……？

◆正面

修道服以外は脱ぎました。

下着も……。

少し胸の先端が浮いてしまってますが……、
お気になさらず。

……ああ、下着ですか？

私も女性ですから……キミとの時間を重ねて、
その……濡れてしまったら、困りますし……。

……と、とにかく。

始めますよ？

◇SE…しゃがむ音

◆正面下近い (フェラ位置)

おちんちん……ずっと隆起し続けて可哀想。

私でどうにかできると信じて……お口で、奉仕させていただきますね。

ベラ、フェラを開始

んむう……ん……。

サキュバスの呪いは……女性には聞きません。

なので、その毒素は……女性じゃないと、取り除けないんです。

ちゅうむう……んんん、ちゅ……ちゅむむ。

ずず……んん、ちゅ……ちゅ、ちゅうう。

下手でごめんなさい。

おちんちんを見た経験も、前戯の経験も初めてで……。

ちゅむむ、んん、ちゅ……んん。ぶん、ちゅ……。

ちゅっ……ちゅ……んん、ちゅ。

主人公、手で大丈夫と言う

手、ですか？

たしかに、手で射精しても大丈夫です。

しかし……ちゅむう、ちゅ、ちゅうう、ちゅ、んんむう、ちゅ、これは、本で得た知識でして……。

んんぶうう、ちゅ……ちゅる……んん、ちゅ。

はあ……はあ……んぶん、ちゅ……ちゅく。

唾液の上塗りで……サキュバスのかけた呪いをおちんちんから全身に回す……。
睾丸の中を浄化するんです。

ちゅく、んん、ちゅむ、ちゅ……ちゅ。

はあ……んぶん、ちゅう、ちゅッ。

ちゅる、ちゅ、んん、ちゅ。

どうか……ちゅむ、ちゅうう……奉仕を、受け取ってください。

んぶん、ちゅ、ちゅ……んん。

ちゅく、ちゅる、ちゅ……んん、ちゅ。

ちゅ、ちゅう、ちゅ……んん、ちゅう、ちゅ。

んん、ちゅ、ちゅむう、ちゅ……それにしても、ですが……、
サキュバスの力は、強大なようですね……。

こないだよりも数倍……おちんちんが熱い気がします。

んむう、ちゅ、ちゅむ、ちゅ……ちゅく……ちゅ。

お口に含んでるせい、でしょうか。

ちゅうう、ちゅ、ちゅうう、んぶッ、ちゅ、ちゅううっ。

ちゅッ……んん、ちゅッ……ちゅっ。

はあっ、はあ……んむ、ちゅ、ちゅうう。

ちなみに、サキュバスにはナニをされましたか……？

んん、ちゅ、ちゅく、キスだけですか？

ちゅるッ……ちゅ、ちゅう、ちゅっ……んん、ちゅ。

このおちんちん……サキュバスに舐められる等はしなかったのですか？

ちゅうう、ちゅう、んん、ちゅ、ちゅくううう、ちゅ。

んん、ちゅ、ずずず……んん、ちゅッ、ちゅ。

んぷんん、ちゅっ、ちゅ……ちゅむうう、ちゅ。

ズズッ……んん、ちゅ、ちゅる、ちゅっ。

舐められているのですたら……私が、浄化します。

んむう、ちゅっ、ちゅう、こんなに可愛い子が、

女性の味を覚えるなんて、憤ってしまいそうです……。

ちゅう、ちゅ、んん、ちゅ、ちゅむう、私は私の役割を……、

ちゅむう、ちゅ、ちゅくう、ちゅ、このおちんちんに……授けますね。

ちゅるる……ちゅううう、ちゅんん、ちゅ。

ですが、ただ舐めてるだけでは……ちゅうう、ちゅ、
射精させられる気がしません……。

いくら加護を授けようとも……ちゅうう、ちゅ、私の技術では、
及ばないと言いますか……。

ちゅうう、ちゅッ、んん、ちゅ、ちゅくうう、ちゅ。

ふう、んん、ちゅ。

ちゅ……ちゅむ、ちゅううう、ちゅ。

ちゅううっ……あぶ、ん、ちゅう、ちゅううッ。

よかったら……私の胸、触りませんか？

大きくはありませんが……せめて、興奮の底上げにできれば……。

主人公、片乳を揉む

んうう……。

どうですか……？

ちゅむう、ちゅ、初めて、触ったんですか？

ちゅうう、ちゅ……ちゅうう、ちゅむん、ちゅ……。

ちゅッ……ぷちゅ、ちゅうう、ん、んう……。

んう、やつ……。

ちゅ、ん、触る時は……ま、周りの柔らかいところを……。

んん、ちゅ、ちゅう、先端は、うう、ん、ちゅ、ちゅむう、ちゅ、か、感じてしまいます、ので……。

んん、ぷちゅうう、ちゅく、ちゅッ、ちゅ。

んん、ちゅる、ちゅうう、ちゅうッ……。

はあ……はあ……。

ちゅ、ちゅうう、ちゅくちゅる、ちゅッ。

んん、ちゅ、ちゅくう、ちゅッ、ずずッ、んんむう、ちゅ。

あつ、うう、んん、ちゅ。

そうです……。

優しい触り方ですと……嬉しいです。

んむ、ちゅう、ちゅく、ちゅ、ちゅうう……ちゅ。

ちゅう、うん、ちゅッ、ちゅむう、ちゅくちゅ、ちゅッ。

れろれろろお……ぷちゅうう、ちゅっ、ずずッ。

おつゆなのか、私の唾液なのかわかりません。

ちゃんと、感じていただけているのでしょうか……。

んむう、ちゅ、ちゅう、本には、男性が悦ぶとありますが……。

ちゅうう、ちゅ、下手な女性が舐めても、あまり効果が……。

ちゅっ……ぷちゅうう、ちゅ、ちゅうう。

ちゅんん、ちゅ、どうにか、イカせないと。

ちゅむう、ちゅ、んんん、ぷちゅ、ちゅうう……ちゅッ。

ずずッ……はあ……はあむうう、ん、ちゅううッ。

はあ、はあ……あの、これからはしたこと覚悟で、
さらに強く舐めます……。

でもどうか……私を娼婦だと思わないでくださいね……。
いきますよ？

ずずずううううッ。

ぢゅぷッ、ぢゅ、ぢゅうううッ。

はああッ、はああッ。

んむううッ、ぢゅ、ぢゅぶぶッ、ぢゅ、ぢゅるるッ。

んん、ぢゅく、ぢゅ、ぢゅうううッ。

はあ……あぷん、ちゅ、ぢゅるるッ。

ぢゅぶう！ ぢゅくッ！ ぢゅ、ぢゅううう！

はあ……はあッ！

ヂュッ、ヂュッ！

ぢゅるるるッ、ぢゅぶ、ぢゅ、ずずううううッ！

■演技…啞えたまま
出ますか？

はい……出してください♥

ぢゅぶぶうぶうううッ！

ヂュッ、ぢゅ~~~~~~~~ッ！

口内射精でフィニッシュ

◇SE…射精

んぶうう！

んっ——んんんっ！

ぷひゅ……ん……ん……ッ！

■演技…鼻呼吸

ふう……ふう……ふう……！

■演技…啜えたまま

全部お願いします……。

んむう……ずず、ぢゅ、ぢゅううう。

ふう、ふう……。

ぢゅぷ……ん……ん……っ。

■演技…鼻呼吸

ふう……ふう……。

■演技…啜えたまま

飲みますね？

■演技…ごつくん

ごく……ごく……ごく……。

ペニスから口を離す

はああああ……ッ。

はぁ……はぁ……。

んんうう……。

どう、でしたか……？

サキュバスの呪いに効いてますか？

勃起は……んんう、まだ、収まってないようですが……これは、

普通に興奮しているのか、サキュバスの呪いなのか……どちらの興奮、でしょうか……？

んう……まだ、熱いですか？

どうやら……呪いは解けていないようですね……。

それでしたら……あの、

これからおこなうことは、絶対に誰にも吹聴しないでくださいね？

口に出してはいけません。

誰かにも、独り言としても。

いいですね？

私は……神に背きます。

これはとても罪深く、永遠に残ってしまう傷ですが……、
私……キミを放っておけません。

覚悟を持って……キミと愛し合います。

なので……セックス、しませんか？

○トラック4…聖なる治療は性なるピストンで

●背景…屋根裏部屋（日中）

トラック3の続き

◆正面下近い（フェラ位置）

それでは……ベッドで仰向けに寝てください。

主人公、ベッドに寝る

◇SE…ベッドに寝る

ベラ、立ち上がる

◆右

跨がりますので……、

ベラ、ベッドに乗る

◇SE…ベッドに乗る

ベラ、主人公の上に跨がる

◇SE…肌が擦れる音

◆正面

重かったら……言ってくださいね。

ベラ、修道服をまくって膣が見える状態に

◇SE…スカートを捲る

んんう……。

おちんちん……こんなにビンビンに……。

ふう……んんん、んく……ん……。

キミは経験がないと仰ってましたが……、
シスターである私も……当然、経験がありません。

経験はありませんが……精一杯、感じさせます。

膣内で、んんう……サキュバスの穢れを絶対に浄化してみせます……。

なので……、

亀頭を擦りつける

◇SE…水音

んんん……、
ううう、ん……。

◇SE…水音

んんく……んん……。

はい……そのまま入れますよ……？

キミは特別ですから……私が、真心込めて、処女を捧げます……。

◇SE…水音

その純潔な感触を……、

直接塗り込んで……はあ……あ、ああ……サキュバスの呪いを、
忘れさせます……っ。

主人公、ジロジロと膣を見る

んう……そんなに、見ないください。

はあ……はあ……んん、ッ……ん………

毛が生えなくて、恥ずかしくて……。

んう……はあ……はあ。

入れますね……？

■演技…深呼吸

すーっ……………はぁ……。
すーっ……………はぁ……。

いきます……………っ。

◇SE…挿入（単音）

あんう……………っ。

アッ……………こんな、広がるんですね……。
んんん、くっ……………うう……。

◇SE…挿入（一気に）

ああああああ……………ッ。

ううっ……………くんんう、う……………ううう……………ッ。

ペニス、根元まで挿入

ベラ、挿入とともに軽い絶頂

ンンンンンッ！

はぁ……………はぁ……………っ。

失礼いたしました……。

いい、いま……………絶頂に、満たされてしまい……………。

はぁ……………はぁ……………はぁぁぁ……………。

少し、お待ちください……………。

思いのほか……………おちんちんは、キツく、広げられるんですね……………。
んんん、ん……………うッ……………キミは、平気ですか……………？

本来なら、キミが射精した時点で終了でいいそうですが……………、
どうせなら……………たくさん、感じてほしいです。

なので……………ん、射精は、もう少し我慢いただけたらなって……………。
んんんう……………平気ですか？

ふふ♥

◆正面極近

■演技…ここから指定箇所まで囁き

いまだけは……敬語禁止♥

気持ちよく、させてもらうね……♥
いくよ？

◇SE…ピストン・低速

んんうう……んう……動き、始めたよ……？

んっ……んん、はあ……んく、んう……。

これが……おちんちん……。

幼い子と違ってたけど……、

おちんちんの熱とハリは……とても立派で……気持ちいいね……♥

んんう……はあっ、はあ……んんん、んく。

キス、しょ？

キス開始

ちゅぶう、んううう、はあっ、はあっ。

んむ、ちゅ……ちゅッ、んん、ちゅ……。

はあ……んん、ちゅく、ちゅうう、ちゅ……。

ちゅうう、ちゅむ、ちゅ……あむんん、ちゅ。

愛情を込めてるんだよ……♥

キミを、ただの年下の子だなんて思っ……♥

愛を込めて……強く、強く……、

心に残るようなセックス……したくて……♥

主人公「したことないんですよね？」

ん？ ないよ……♡ 誰とも。

んん、ッ、ん、恋したことなんて……幼少の頃の、父くらいだし……。

はああつ、んん、シスターになった時点で、

んん、セックスをする未来なんて、想像できなかった……。

キミはどう？

ん、ちゅ、私みたいな年上としちゃって……後悔しないかな？

主人公「そんなことないよ！ ベラさん綺麗だし」

まあ……♡ ありがとう♡

んん、一人で生きてきたのに、そんなおべつかまで使えちゃうの？

はあつ、はあつ、ふふふ♡

本音でも嘘でも、キミの言葉なら嬉しいよ♡

ちゅッ。

ありがとうね♡

◆正面極近 ↓ 右極近

はあ……はあ……。

◆右極近

いま、ちよつと恥ずかしくなっちゃいました……♡

んんんっ、火照りが収まるまで……くつつくね。

ふうう……んん、んく、んんう……んん。

はあ……はあ……んん、んくッ……んううう。

でも、すごいね♡

経験ないはずなのに……んん、私より長持ちだ……♡

んう、私、入れただけで絶頂しちゃった……。

んふううう……んくん、んッ……はあ……はあッ。

んく、んう……あん、んくッ……。

オトナとして……キミより長く保てるように、
頑張らないと……ッ。

はあッ……はあッ。

う、んく……んんうッ。

ンッ……せめて……ッ、ペースだけでもあげて……、
キミを、絶頂に近づけるね……ッ。

じゃないと、私ばかり絶頂しそうです……。

ふふふ♥

それくらい、気持ちいいの……♥

重かったら教えてね？
いくよ？

◇SE…ピストン・中速

んんんんう、これくらい……激しいんですが……。

はあ……はあ……んううッ、うう、んくん、んう。
どう？

私は……ッ、気持ちいいのに、

気持ちよくて、くらくらするのに……ッ、
腰だけが、勝手に動いちゃう感じ……ッ♥

自分の意志なんて、隠し続けてきたの。
シスターだから、その体は神のためにあるのって、
母から、そう教えられて……ッ。

んんッ、はあッ、はあッ、でも、
いまキミとこうして感じてると……ッ、女性としての悦び、
女性としての幸せとか、つい考えちゃう……ッ♥

はあっ、はあッ……こんな気持ちいいことを、ずっと知らずにいたんだ♡
偶然の産物だけど……っ、

こうして、キツカケをいただけたのは……きっと、運命だよね……♡

はあっ、はあっ、あああ、ううッ、ん、はい、運命……♡

こうしてっ、おちんちんと、おまんこを擦り合わせるのは、
運命です……っ、愛のこもった、運命……♡

はあっ……はあっ。

軽い耳舐め

■演技…ピストン中なので少し余裕なく

ちゅむうっ、ちゅッ、んん、ちゅ、ちゅッ。

んんむう、ちゅッ、ちゅう。

はあっ、ああっ……んん、ちゅ、ちゅううッ。

ああ……♡

キミのおちんちん、さらに元気に……♡

んうう……あっ、んんくう……んくん、んっ……♡

はあっ、はあっ……んんっ、んっ。

あまり舐めるのは……できないね。

啗んじゃいそうで怖いから……ふふ♡

◆右極近 ↓ 左極近

なんてね……♡

◆左極近

こっちも舐めたいだけ……♡

軽い耳舐め

んむう、ちゅ、ちゅううッ、はあっ、はふうう。

ん、ッ……ちゅッ、ちゅッ、ちゅうう、んっ、うんん。

あんっ、んんうう、ちゅ、ちゅくう。

キミがイキそうになってくれて嬉しい。

ちゅうう、ちゅむ、ちゅうう。

ん……はあ……はあ……っ。

精一杯……イカせてみせるね。

んん、ちゅ、ちゅう、そろそろ……射精のお時間、かも。
んんッ、んん、うッ……はあっ、はあ……ッ。

最後に……もっと激しく動くね？

キミと私の初めてのエッチ……これで、集結にするよ♥

◇SE…ピストン・高速

んんんんっ。

はあっ、ううっ、普段は、こんなはしたくないよ？

ただっ……んんんっ、感じたことのない経験がっ、

私の理性、保たせてくれなくて……！

んんんッ、はあふうう、ん、んくッ。んん、あん、んくっッ！

精液……っ、最後は中に出して……っ！

お姉さん相手に、いいかな？

ほんとうは中に出す必要はないの……ッ！

でもっ、私が欲しいの♥

シスターじゃなく、ベラという一人の女性として……ッ。

あああああッ、んんくッ、ん、んううううッ。

ううっ、あっ、ああっ、はあっ、はあッ。

射精してッ♥

私もっ、一緒にイクねっ♥

はあっ、ああッ、イク……ッ♥

中に出して、んんんッ、イクうううううッ ♡

◇SE…射精

ピストン停止

ンンンン……っ！

アッ——はぁあっ、はぁあ……っ！

うううっ、んくんっ、ん、あっ……子宮に……届いてますね……。

温かくて、幸せな感触……んくうッ、んう…… ♡

はぁっ……はぁあ……ッ、これが、キミの愛なのかな……。

ああああ……うくう、んん、んく……。

ふう、んん、んっ……あっ……あ……ふふふ ♡

べつとり…… ♡

んう……んうう……。

◆左極近 ↓ 正面極近

どうかな……？

◆正面極近

全部……出してくれた……？

シスターの子宮が……男性の子種で満たされるのは、

きつと……キミの精子だけだね…… ♡

主人公「そうなの？」

うん…… ♡ シスターは結婚しないし……私は生涯シスターの予定だから。

だから、私が非処女になったのは……ふたりだけのヒミツ…… ♡

キミが通うギルドにも、知り合いにも……、

神様にも……ナイショにしててね……？

そうすれば……私はみんなの中では、純潔を守るシスターのままに居られるから。

主人公「申し訳ないよ……」

ふふふ♥ 私が迫ったんだから……キミが悔やむ必要はないよ。
全部、私が望んで捨てたこと。

ふう……ん……。

んんう……それよりも……精子は、全部出たかな？

うん……♥

元氣いっぱい……気持ちいいエッチだったよ……♥
頬の上氣は消えたね。

おちんちんは硬いままだけど……、

これ……キミの性欲が強すぎるんじゃない？
エッチな子♥

ちゅ、ツ、んん、ちゅ……ちゅ。

じゃあ……今日は泊まっていつてね。

お互いの体温を分かち合いながら……寝ちゃおうね♥

○トラック5…おやすみなさい、可愛い冒険者さん

●背景…屋根裏部屋（夜）

トラック4の後

ふたりは全裸でベッドに

主人公だけ寝ている

主人公は仰向け、ベラは主人公の方を向いて寝ています

■演技…常時囁きでお願いします

◆左近い

■演技…寝息

すう……………すう……………。

すう……………すう……………。

んうう…………。

ふふふ…………

可愛い…………。

寝ちゃったみたい…………。

◇SE…頭を撫でる音

こんな可愛い子とセックスをする日が来るなんて思わなかった…………。

あの子にそっくりな…………可愛いボクちゃん。

はあああ…………♥

んんう…………。

嘘、ついてごめんね。

寝てるキミに言っても伝わらないけど…………キミが怒っちゃう気がしたから、

知り合いの子って嘘ついてた…………。

亡くなったのは…………私の弟。

魔物がもたらした病気で…………私の弟は亡くなったの。

あの時、私は無力で大切なあの子を助けられなかった。
もしかしたら……シスターとしての責務を捨てれば、助けられた……。
だから、キミと出会った時ね……？
この子だけは絶対に助けなくちゃって思ったの……。

◆左極近

弟の代わりだなんて思っていないよ。
キミを……キミとしてちゃんと見てるよ。

◇SE…寝返り

◆正面極

あら？

ふふふ……♡

ギュツとしてあげる……おいで……♡

◇SE…ハグ

んう……♡

キミは……私が守ってみせる。

キミがまたサキュバスに呪われたら、

その分……私がセックスをします……♡

子供を産まなきゃいけないことになったら……

私が産みます……♡

この可愛い寝顔の平和は……私の加護で……、
幸せに満たしてみせます……♡

少しの間

いまは……おやすみなさい……♡

額にキスをする

ちゅッ……♡

ふふふ……♡

キミの人生に、神のご加護があらんことを♡

■演技…寝息

すう………すう………。

すう………すう………。

すう………すう………。

すう………。

すう………。

すう………。

すう………。

すう………。